

寂滅の済すくい — 涅槃会ねはんえ 色身しきしんの生滅しょうめつと法身ほっしんの不滅ふめつ — (三版)

祇園精舎の鐘かねの声こえ

諸行無常しよぎようむじようの響ひびきあり

仏陀ぶつだの説とかれし正法しょうぼうは

例外れいがいなしの無常むじようなり

生者しょうじゃ必滅ひつめつ会者えしや定離じようり

愛別離あいべつりく苦なみだに涙なみだする

条件じようけんととのい存在そんざいす

単独存立たんどくそんりつひとつ無なし

それむがを無我むがとぞ習ならうなり

縁えんを遺のこして苦くを脱だつす

難値なんちの法灯滅ほうとうめつせざる

得度とくどの因縁いんねん成なし得えたり

寂滅じやくめつ為いらくうけが楽肯わん

同時どうじ成道じようどう済あい有うり

衆生しゆじようは無明むみようで生うまるとも

必定ひつじようぶつどう仏道と成なし遂とげん

絶対ぜったいの平等びやうどう

永遠えいえんの平和へいわ

滅除めつじよ煩惱ぼんのう焰えん

完全かんぜんな自由じゆう

皆共かいぐ成じようぶつどう仏道と